

オレゴン大学、学士課程在学生の4年での卒業率を今後5年間で10ポイント上昇させるための  
新イニシアティブを発表（11月9日）

オレゴン大学（University of Oregon）のマイケル・シル学長（Michael Schill）は、同大学学士課程の学生の4年での卒業率49%を今後5年間で10ポイント上昇させるために、1,700万ドルを投入するというイニシアティブ「オレゴン・コミットメント（Oregon Commitment）」を発表した。本イニシアティブは、学生の成功支援を目的として、財政・学業・カリキュラム・課外プログラムを強化するための投資の概要を提示している。「オレゴン・コミットメント」は、財政面と学業面における支援を組み合わせ、卒業者数増と卒業までに要する期間の短縮において成功実績を収めている「パスウェイ・オレゴン（PathwayOregon）」プログラムをモデルとしたもので、4年で学士号を取得することにより、学生及びその家族の経済的負担を大幅に縮小するものとなる。

なお、シル学長による本イニシアティブ発表内容は、  
<<https://president.uoregon.edu/content/oregon-committment-student-access-and-success>>  
から閲覧可能。

University of Oregon, President intends to cut college costs by speeding graduation  
<http://around.uoregon.edu/content/president-intends-cut-college-costs-speeding-graduation>